

戸田川二重樋門

(樋門…堤防を横断する水路のこと)

明治42年(1909)に現在の新茶屋三丁目の戸田川に造られた5連の石造りの樋門の昭和50年代の様子(写真:左)です。
この樋門には、止め金具を外すと一気に扉が閉まる仕掛けがあり、日光川堤防決壊の非常時のみ使用できるといふ固い規定があったそうです。
河川改修に伴い解体されましたが、この樋門の石材の一部を使用して複製し、現在は3連となって戸田川緑地の入り口を飾っています。



昭和50年代の戸田川二重樋門

再現された戸田川二重樋門

南陽支所旧庁舎

写真は南陽支所の旧庁舎の様子です。明治39年(1906)に福田村、福屋村、茶屋村が合併し南陽村となり、明治44年(1911)に南陽村役場を現在の春田野三丁目国道302号線あたりに移転しました。その後、名古屋市への編入を経て港区役所南陽支所となりましたが、老朽化などにより昭和50年(1975)に現在地に移転しました。現在は、南陽町役場跡地を示す石碑が建てられています。

また、付近には鬼頭景義・勤兵衛宅跡や福田行在所碑があります。明治13年(1880)7月2日、明治天皇が京都府御巡幸のとき、この鬼頭家に着かれて昼食をとられ、その際に海東郡津島村の山田庄次郎が泥亀9匹を天覧に供し、このうち5匹を陛下がお買い上げになったといわれています。



南陽支所旧庁舎



- 港・水辺の風景
- みなとの歴史にふれる
- みる・遊ぶ
- 公園・みち

稲永東公園

昭和63年頃の稲永東公園の「港の見える丘」の様子(写真:左)です。稲永東公園では過去に大規模な植樹が行われ、現在では、当時の樹木が美しい森となって大きく成長(写真:右)し、市民の憩いの場として親しまれています。



昭和63年ごろの「港の見える丘」

現在の「港の見える丘」

LEGOLAND® Japan Resort

レゴ®ブロックやレゴ®モデルに触れて創作できる、楽しさと学びを提供する教育的要素を持った体験型のテーマパークとして平成29年(2017)に名古屋で開業しました。パーク内にはテーマパークを受け身で体感するなどただ楽しむだけではなく、子どもたちが積極的に参加できるインタラクティブな冒険アトラクションやワークショップが多彩に展開されています。



リニア・鉄道館

東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまでの展示を通じて「高速鉄道技術の進歩」を紹介しています。鉄道が社会に与えた影響を、経済、文化および生活などの切り口で学習でき、模型やシミュレータ等を活用し、子どもから大人まで楽しく学べる施設です。



ブルーボネット

美しい緑や草花、水面の輝きなどを楽しみながら、四季の潤いを感じることができる「自然庭園」です。園内では、それぞれこだわりをもった22のガーデンを楽しむことができます。また、南エリアには体験型「花と野菜のコミュニティガーデン」もあります。



編集・発行
名古屋港区役所 区政部 地域力推進室
TEL(052)654-9621 FAX(052)651-6179

